

『一生懸命』幻の新座市議会報告第136弾!



たかむらともや

2016年7月31日発行

③ 駅立ちとアンパンマン

参議院選挙や市長選挙が終わり、そして都知事選も終わり、やっと駅に立つことができます。早いもので、僕の駅立ちも11年目に突入しました。

日記で調べると、初めての駅立ちは、2006年の5月29日(月)ひばりが丘の北口でした。その時に手渡しできた部数は多分、150部くらいだったと思います。時間も今より短かったと思いますが、それにしても少ない部数です。最初は恥ずかしいやら怖いやら、何を言えばいいのか、どんな表情をしたらいいのかもわかりませんでした。

あれから10年、僕の駅立ちにも変化が起きています。最近の僕は、殆ど動かなくなりました。人相の悪い人には全く反応しなくなったのです。

誰にでも「おはようございます!」という駅立ちの最低の「お約束」もしなくなりました。人相がよくて、笑顔の人、”良い気”を出している人への挨拶は欠かしませんが・・・それ以外のときは、小さな声で英語の教科書の暗唱をしたり、歌をを歌ったりしています。「駅立ちで歌はないだろう!」と思われるかも知れませんが、人相のいい人が来るまで頭の中に入っている歌・・・例えば「大空と大地のなかで」「puff」「500miles」「君のために作った歌」などを、適当に歌ってます。最近、不思議なことにアンパンマンの歌をよく歌っています。写真は駅立ちの原点、ひばりが丘北口で五中4期生の教え子とハイタッチしている幸せな担任です。50歳になったこの子たちの為にも、駅立ちを続けたいものです。③



8月7日(日)の「第18回わいわい川遊び」の様子です。栗原一丁目公園の前の黒目川で100人を超える子どもたちが魚取りに夢中になりました。③

たかやんのプロフィール



五中、六中、二中でのあだ名が”たかやん”1954年2月、東京青山生まれ。

新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し、無理やり教職の単位を取る。

北大卒業直後の52年4月、23歳で五中1期生の3年4組を担当する。当時、新任で中三の担任をしたのは全国で”たかやん”一人だけだった。

「一生懸命」は20年間書き続けた学級通信の名前。

大好きな政治家は田中角栄。ホセ・ムヒカ。翁長雄志。大好きなものは「テニス」「子どもたちの笑顔」「音楽」「川掃除」「駅立ち」「写真」「餃子」

大嫌いなものは「今の自民党」「欲に塗れたグローバリストたち」「TPP」「核兵器と原発」「弱い者いじめ」「煙草を平気で道路や川に捨てる人間」「煙草の煙」「集団的自衛権」「消費税」「改正派遣法」「マイナンバー」「税逃れをする金持ち」「牡蠣」

身長175センチ、73キロ、体脂肪率15.5% ③
この写真は五中の体育祭で走る25歳のわたし・・・

たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ みんなの学校

ドキュメンタリー映画「みんなの学校」に登場する大阪市立大空小学校は本当に素敵な学校でした。

日本中の学校に「学校の決まり」があるでしょう。僕がいた中学にもありました。「学校に必要なもののは持ってこない」「通学靴は白」「靴下の色は白のみ」「夏季、女子はベストを着用すること」「スカートの丈は…」随分おかしいものもありました。

大空学校には学校の決まりはありません。あるのは、ただ一つの約束。それは「自分がされて嫌なことはしない、言わない」というものです。大空小学校には木村校長に鍛えられた本物の先生がいました。新座の先生方にも是非見て欲しい映画でした。

20年前、市内の中学校を辞めてカナダに行ったときに、地元の中学校で話を聞く機会がありました。『校則はありますか』と聞くと「二つあります」『どんな校則ですか？』「廊下でスケートボードをしない」と「喧嘩を見たら止める」その二つです」という返事が返ってきました。正直(やられた！)と思いました。

靴下は白などと決めるから、親が苦労して真っ白な靴下を探さなくてはいけないのです。夏でもベストを着用のこと、と決めるから、女の子たちはくそ暑い夏に熱中症になる危険を知りながら、ベストを着なくてはいけないのです。夏は男子も女子も白いYシャツで過ごすに限りです！五中でも六中でも自分のクラスや学年を真っ白にしたことがありましたが…やってみると、なんてことはないのです。現実には近隣市では、女子も白いシャツで登下校しています。ベストは寒いから着用するものであって、それ以外の何物でもありません。

余りに多くの、必要のない「学校の決まり」があるから、教師はそれを守らせることが生徒指導だと思ってしまうのです。本当の生徒指導は子ども達の表情や雰囲気敏感でなくてはできません。教師は自分の言葉や表情に責任を持って子どもたちと接することを意識なくてはなりません。学校の決まりは、社会では通用しません。でも、「自分がされて嫌なことはしない、言わない」という約束は、社会でも通用します。民に冷たい政治家や子どもたちに冷たい教師達に聞かせてやりたい言葉です。政治家も教師も自分の言葉には責任を持たなければなりません。

民と子どもたちを幸せする仕事なのでありますから。

③ 清々しい！

水泳、体操…オリンピックを見ていて思うのは、競技を終えた後の若者たちの清々しさです。日本の若者が中国の若者に声をかけ、ガッチリと握手をする。日本の若者が北朝鮮の若者と表彰台の上で肩を組む。ともに戦った他国の若者とハイタッチをしてお互いの健闘と称えてハグをする。その清々しさに心が洗われます。その一方で頭の固い、年寄りの政治家たちが領土のことで問題を起こす。若者たちが体を張って勝負をするオリンピックと、人相の悪い年寄たちが脅しあい、罵り合いながらお互いの主張を引っ込めない政治の世界とは対照的です。

核兵器であれだけの犠牲者を出したのに、核兵器を持たなきゃやられる！と主張する人相の悪いじいさん、ばあさん。双方の国の人相の悪い政治家たちが問題を起こすのです。人相の悪い彼らの後ろには軍需産業が蠢き、世界各地で紛争が起き、テロが起き、今、軍需産業は好景気に沸いているのだそうです。もう二度とあんな戦争はごめんです。若者がドーピングなしで、正々堂々と勝負するオリンピック…人相の悪い各国の政治家たちも彼らから隣国との付き合い方を学んで欲しいものです。



8月の第一日曜日に行われた「わいわい川遊び」には150名以上の方が来てくれました。午前中は魚とりに燃え、黒目川に生息する魚の名前を覚え、お昼を食べた後は、ボートやカヌーで遊びました。

この平和な光景は当たり前にあるものではありません。71年前のこの日の前日には、広島に原爆を落とされ、この2日後には長崎に別のタイプの原爆が落とされたのですから。この子どもたちが大人になっても「川遊び」が当たり前の光景になるように、僕たち大人たちは努力したいものです。つづく



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m (_ _) m